

我孫子市消費者の会

お知らせ

2011年9月21日 第37期 No. 6-423号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.com/>

高齢社会への対応を探る会講演会

大震災の教訓を生かす ～災害福祉広域支援ネットワーク～ ご参加を

日時 10月25日(火) 13:30～16:20
場所 けやきプラザ2F ふれあいホール
入場 無料
講師 小山剛氏 長岡市高齢者総合ケアセンター「こぶし園」園長

3月11日は多くの方が犠牲になりました。地震が活動期に入ったと言われる今、どう備えるか、ご近所との日常生活も含めどうしたら良いのかを、一緒に勉強しましょう。

チラシをご覧の上、是非ご参加ください。

放射線に関する講演会

テーマ「食品と放射能」

日時 10月8日(土) 14:00～16:00
場所 けやきプラザ2F ふれあいホール
講師 黒田岳士氏 消費者庁消費者政策課長
入場 無料
主催 我孫子市・我孫子市消費者の会
後援 消費者庁

消費者庁から、消費者の会が共催するよう話が来ましたので、名前を入れることになりました。長官も出席される予定。どうぞご参加ください。

さようなら原発1000万人アクション 我孫子市民実行委員会

先月もお知らせしましたが、その後の活動に

ついて報告します。

①9月4日の我孫子での初めてのデモは、80名の参加で行進しました。合計4.8kmをタンバリンやボンゴ等を鳴らし「原発ノー」とアピールして歩きました。日曜日の夕方、多くの方の目を引きました。ご理解をいただいたと思います。

②9月8日、日本青年館での講演会に我孫子から4名参加しました。その時、大江健三郎さんが引用された広島原爆後の治療に携わった「肥田舜太郎」さんが話されたことが「週刊金曜日」に掲載されました。裏面に印刷します。雑誌「世界」9月号にも掲載されています。

核の人体に対する影響をつぶさに経験された方のお話です。お読みください。

③9月19日、さようなら原発5万人集会に参加しました。主催者発表は6万人集まったとのこと。明治公園はぎっしり人で埋まりました。福島からはバスを連ねて参加されたとのこと。鎌田慧、大江健三郎、内橋克人、落合恵子、澤地久枝の各氏の訴えは、核と人類は共存できない。今、市民にできることは、個人の意志をはっきりと言うこと。署名、デモを通して、政治家や東電に届けること、と。

④署名集めにご協力を

できるだけ多くの方の署名を集めてください。来年2月末まで。



10月定例会

10月3日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室

場所が戻ります。お間違いなく。

定例勉強会として、「原発関係の情報」

11月定例会

11月7日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室

消費生活の安定及び向上に向けた

県民提案事業 次回予告

講演会 「免疫力をつける生活」きれいな社会の
落とし穴〜アトピーからガンまで

日時 12月17日(土) 13:30~16:00

場所 天王台北近隣センター ホール

講師 藤田紘一郎氏 人間総合科学大学教授

東京医科歯科大学名誉教授

寸劇 悪質商法にかからないために

先月号で、10月8日に開く旨お知らせしましたが、消費者庁の講演会が入り、予定を変更しました。お間違いの無いようにお願いします。

福島原発事故で多くの放射線を浴びてしまった日本人、肥田舜太郎氏がおっしゃるように、免疫力をつけて、病気にならないような生活を心がけることが大切になります。

藤田紘一郎氏も放射線と免疫力の関係を含めてお話くださいます。チラシは来月までお待ちください。

浄化槽シンポジウム

みんなでつくる美しい水環境

〜浄化槽は水辺の守り手〜

千葉県他の主催で上記のシンポジウムが開かれます。この中で、我孫子市消費者の会に「取り組み紹介」の発表を依頼されました。加藤マリ子さんが発表します。どうぞご参加ください。

日時 10月1日(土) 13:00~16:30

場所 水の館 3F 研修室

流域フォーラム

「災害と生物多様性」

日時 10月15日(土) 13:00~ 水の館

講師 堂本暁子氏(前千葉県知事)

詳細は今後の広報あびこをご覧ください。

クリーンフェスタ

日時 10月8日(土) 10:00~(雨天9日)

場所 クリーンセンター

生ごみ堆肥を利用した「寄せ植え」をエコピュアあびこの会の方々が開きます。受付10時から。先着20名。

ボランティアポイント制度

10月から「我孫子市介護保険ボランティアポイント制度」が始まります。

この制度は、ボランティア活動を通じて積極的な社会貢献に役立てるとともに、自らの介護予防を推進することが目的です。

事前に登録をした65歳以上の市民が、市内の介護保険施設等でボランティアをした場合、その実績に応じて付与されるポイント数に対して、年間最大5,000円の交付金を受けられます。

けやきプラザ10階のボランティア・市民活動窓口で、申込み、相談を受け付けます。詳細は窓口でどうぞ。

「脱原発と自然エネルギーへの期待」

講演会終了

消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業の第1回目の講演会を終わりました。

9月10日、アビーホールにて、NPO法人環境エネルギー政策研究所の松原弘直氏に講演いただきました。73枚のパワーポイントを使いながら、現在の再生可能エネルギーの状況、これから何を充実していけば、原発に頼らない日本の社会を作れるかを、具体的に熱心にお話いただきました。

太陽光発電、風力発電・・・個人では手が出せないとおきらめるのではなく、推進する団体にお金が集まるよう、市民ファンド等に協力することもできます。この夏の経験から、節電効果が大きいことも実感している人が多いでしょう。電気は欲しいだけ使える時代は終わったことを、国民が認識することから始まります。

千葉県消費者団体連絡協議会の講演会のチラシをお届けします。放射線の人体への影響について詳しく教えていただけます。南船橋ですが、是非ご参加ください。